

かすかべ KASUKABE 議会だより

2025(令和7)年8月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<https://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第80号



春日部工業高等学校との意見交換会（議会報告会）の様子
(令和7年1月16日開催)



次の定例会は
8月25日(月)開会予定です

主な内容

主な議案の紹介・審議結果… 2～3 ページ
議会人事・委員会などの構成… 4～5 ページ
一般質問…………… 6～14 ページ
傍聴して一言…………… 15 ページ
意見交換会(議会報告会)……16 ページ

「令和7年度一般会計補正予算(第1号)」を可決

「事前復興まちづくり計画の

策定支援を求める意見書」を可決

令和7年度一般会計 補正予算(第1号)を可決

補正予算の総額は、歳入歳出の総額に、それぞれ8億7250万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ942億250万3千円とするものです。

○歳入の主な補正内容

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金8億6196万2千円の増は、定額減税調整給付金不足額給付事業、および職員人件費に対し、交付されるものです。

公園費寄附金2300万円の増は、公園事業に対し、寄附金の申し入れがあったものです。

財政調整基金繰入金1511万5千円の減は、今回の補正予算における収支を調整するものです。

○歳出の主な補正内容

広報推進事業340万2千

円の増は、人件費などの高騰による広報かすかべの配送業務にかかる委託料の増額に伴うものです。

庁舎管理事務381万7千円の増は、大沼区画整理記念館の屋上防水修繕を実施するものです。

戸籍住民基本台帳事務81万4千円の増、および障害福祉事務250万8千円の増は、法改正などに伴う、システム改修を実施するものです。

定額減税調整給付金不足額給付事業8億6104万2千円の増は、定額減税調整給付金において、支給額に不足が生じた方へ不足額を給付するものです。

【全員一致で原案可決】



議員提出議案

事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書

首都直下地震、南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震やそれに伴う津波被害、近年激甚化、頻発化する豪雨災害などの大規模災害への備えが、ますます重要になってきています。

大規模な災害が発生すると、市街地をはじめインフラが壊滅的な被害を受けます。被災市町村は、復興まちづくり事業に取り組みことになり、住宅、教育等の分野の基盤として他分野の復興まちづくり事業に先立って実施しなければなりません。そのためにも、早期の復興まちづくり計画の

策定、事業着手・事業完了が求められています。

このため、事前に人口減少や少子高齢化社会を考え、復興後に想定される居住人口や産業の規模に対し、適切な規模での復興まちづくりの目標や実施方針を検討することは、被災後に復興まちづくり方針・計画を早期に策定し、適切な規模で被災地を復興し、より良い復興を実現するために重要な取り組みです。

また、大規模な災害が発生した際には、大規模災害からの復興に関する大規模災害復興法律に基づき、国は特別の必要があると認められるときは復興の基本方針を定めるとともに、都道府県においても復興方針を定めることができるとなっており、市町村でもこれらに基づき復興計画を作成することができると思っています。

国土交通省では、地方公共団体が復興まちづくりをイメージした目標像の検討や、その実施方針の検討等を通じた事前復興まちづくり計画の事前の策定に焦点をあてた「事前復興まちづくり計画検討のためのガイドライン」を策定しました。

一方、地方公共団体の復興事前準備の取組状況は、令和6年7月末時点で着手率が約67%となり、取り組みは一定程度定着してきていると考えられますが、復興体制や復興手順の検討にとどまっている現状です。

災後に迅速な復興まちづくりを行うには、平時から災害が発生した際のことを想定し、事前に体制と手順の検討、建物や土地利用状況などの必要なデータの整理、復興まちづくりの目標の検討などを行う復興事前準備に取り組むことが重要であります。

よって、政府におかれましては、事前復興まちづくり計画策定に対して防災・安全交付金による支援や、事前復興まちづくり計画策定を検討・実施する自治体に対する技術的助言などの支援の強化を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和7年6月17日

春日部市議会

衆議院議長 様

参議院議長 様

内閣総理大臣 様

国土交通大臣 様

【全員一致で原案可決】

6月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議案第 51 号	専決処分承認を求める(税条例の一部改正)(総務)	承認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 52 号	専決処分承認を求める(都市計画税条例の一部改正)(総務)	承認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 53 号	専決処分承認を求める(国民健康保険税条例の一部改正)(厚生福祉)	承認	○	○	○	○	○	○	○
議案第 54 号	税条例の一部改正(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 55 号	手数料条例の一部改正(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 56 号	高齢者憩いの家条例の一部改正(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 57 号	市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 58 号	土砂のたい積の規制に関する条例の廃止(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 59 号	豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 60 号	豊野小学校外4校避難所空調設備設置工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 61 号	東中学校体育館外壁等耐震対策工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 62 号	緑小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 63 号	武里小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 64 号	大増中学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 65 号	南桜井小学校校舎トイレ改修工事請負契約の締結(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 66 号	大沼公園広域受援拠点施設整備工事請負契約の議決内容の一部変更(教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 67 号	財産の取得(春日部消防署浜川戸分署・幸松分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材)(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 68 号	財産の取得(春日部消防団第3分団・第6分団消防ポンプ自動車CD-I型)(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 69 号	令和7年度一般会計補正予算(第1号)(総務・厚生福祉・建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 70 号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○ ³ × ₁
議案第 71 号	令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○ ³ × ₁
議案第 72 号	監査委員の選任につき同意を求める(栗原 信司 氏)(付託省略)	同意	○	○	○	○	○	○	○
議案第 73 号	選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部改正(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 74 号	選挙長等の費用弁償条例の一部改正(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 75 号	令和7年度一般会計補正予算(第2号)(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

請願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請願名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
請願第 4 号	水道・下水道料金を引き上げないことを求める請願(建設)	不採択	×	×	×	○	×	×	○ ¹ × ₃
請願第 5 号	春日部市にデマンド交通の導入を求める請願(建設)	不採択	×	×	×	○	×	○	○ ² × ₂

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ!	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 8 号議案	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 9 号議案	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 10 号議案	事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 11 号議案	物価高騰から国民生活を守るために、消費税を5%に引き下げを求める意見書(付託省略)	否決	×	×	×	○	×	×	○ ³ × ₁
議第 12 号議案	国民の主食「コメ」の需要と価格の安定のためにコメ政策の転換を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ ³ × ₁
議第 13 号議案	こどもの権利を尊重し、こどもを人間として大切にすることを、不登校対策の転換を求める意見書(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○ ¹ × ₃
議第 14 号議案	健康保険証の復活を国に求める意見書(付託省略)	否決	×	×	×	○	○	×	○ ² × ₂

新たな副議長が決まりました

6月定例会において、副議長が辞職したことに伴い、
選挙の結果、副議長に石川議員が選出されました。
また、委員会委員などにおいても一部変更がありました。

正・副議長あいさつ



市議会議員
小久保博史



市議会副議長
石川友和

市民の皆さまにおかれましては、ますますご清
祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、令和7年6月春日部市議会定例会に
おきまして、副議長の選出が行われ、新たな体制
で議会運営に臨むこととなりました。春日部市議
会といたしましては、正副議長が互いに連携しな
がら、公平・公正で円滑な議会運営に努めてまい
る所存です。

また、今年は、春日部市市制施行20周年とい
う大きな節目を迎えます。これまで市政を支えてこ
られた多くの皆さまのご尽力、そして市民の皆さ
まのあたたかいご協力を、改めて深く敬意と感謝
を申し上げます。

市内では地域行事やイベントが活気を取り戻し、
まちに笑顔とにぎわいが戻りつつあります。一方
で、物価高騰や少子高齢化、自然災害への備えな
ど、将来を見据えた課題への対応が求められてお
ります。

こうした状況を踏まえ、春日部市議会は、市民
の皆さまの信頼に応えるべく、行政に対する監視
機能を果たしつつ、持続可能で安心・安全なまち
づくりの実現に向けて、全力で取り組んでまい
ります。

議 会 人 事

今定例会において、議事人
事の一部が次のとおり、変更
になりました。

議会運営委員会

- (新) 鬼丸裕史
- (旧) 石川友和

議会改革検討特別委員会

- (新) 永田飛鳳
- (旧) 石川友和

地域拠点整備 検討特別委員会

- (新) 会田吉幸
- (新) 水沼日出夫
- (旧) 金子進
- (旧) 石川友和

埼玉斎場組合議会議員

- (新) 山崎進
- (旧) 金子進

監 査 委 員

- (新) 栗原信司
- (旧) 水沼日出夫

市立医療センター 運営委員会委員

- (新) 水沼日出夫
- (旧) 石川友和

国民健康保険 運営協議会委員

- (新) 山口剛一
- (旧) 金子進

議席番号の変更

今定例会において、次のと
おり議席番号の変更がありま
した。

- 会田 吉幸 議員
6番 ↓ 7番
- 永田 飛鳳 議員
7番 ↓ 11番
- 山口 剛一 議員
11番 ↓ 12番
- 石川 友和 議員
12番 ↓ 13番
- 水沼日出夫 議員
13番 ↓ 21番
- 金子 進 議員
21番 ↓ 6番

全国市議会 議長会表彰

令和7年5月20日に開催
された全国市議会議長会第
101回定期総会において、
次の方々が表彰されました。
また、6月定例会の会期中
に、表彰状ならびに記念品の
伝達が行われました。

- 表彰【在職15年】
○大野とし子 議員
- 金子 進 議員
- 今尾 安徳 議員
- 表彰【在職10年】
○古沢 耕作 議員

委員会の構成

名 称		氏 名 (◎は委員長、○は副委員長)					
常任委員会	総務委員	◎山口 剛一 山崎 進	○藤原 智子 荒木 洋美	酒谷 和秀 (欠員1)	大野とし子	阿部 雅一	
	厚生福祉委員	◎木村 圭一 水沼日出夫	○会田 吉幸 大里 昇	榛野 博 小久保博史	並木 敏恵	奥沢 裕介	
	建設委員	◎吉田 稔 鬼丸 裕史	○鈴木 一利 河井 美久	古沢 耕作	金子 進	今尾 安德	
	教育環境委員	◎永田 飛鳳 中村 貴彰	○伊藤 一洋 栗原 信司	木下三枝子	石川 友和	平沢 一博	
議会運営委員会委員		◎鬼丸 裕史 山崎 進	○鈴木 一利 吉田 稔	並木 敏恵 木村 圭一	山口 剛一	阿部 雅一	
議会改革検討特別委員会委員		◎鬼丸 裕史 平沢 一博	○木村 圭一 奥沢 裕介	大野とし子 藤原 智子	永田 飛鳳 大里 昇	山口 剛一 吉田 稔	
中心市街地まちづくり検討特別委員会委員		◎山崎 進 中村 貴彰	○阿部 雅一 大里 昇	今尾 安德 吉田 稔	永田 飛鳳 木村 圭一	山口 剛一	
地域拠点整備検討特別委員会委員		◎荒木 洋美 伊藤 一洋	○鬼丸 裕史 奥沢 裕介	木下三枝子 鈴木 一利	会田 吉幸 水沼日出夫	平沢 一博	
広報広聴委員会委員		◎会田 吉幸 中村 貴彰	○木下三枝子 藤原 智子	山口 剛一 大里 昇	平沢 一博	伊藤 一洋	
図書室運営委員会委員		◎会田 吉幸 中村 貴彰	○木下三枝子 藤原 智子	山口 剛一 大里 昇	平沢 一博	伊藤 一洋	

議会選出各種議会議員・委員会等委員

名 称	氏 名					
埼葛斎場組合議会議員	今尾 安德 河井 美久	永田 飛鳳	阿部 雅一	鈴木 一利	山崎 進	
埼玉県都市ボートレース企業団議会議員	小久保博史					
利根川栗橋流域水防事務組合議会議員	会田 吉幸	藤原 智子				
江戸川水防事務員組合議会議員	奥沢 裕介	鬼丸 裕史	木村 圭一	(藤枝 哲也) ※ 議員以外から選出		
監査委員	栗原 信司					
市立医療センター運営委員会委員	木下三枝子 鬼丸 裕史	永田 飛鳳 吉田 稔	阿部 雅一 荒木 洋美	中村 貴彰	水沼日出夫	
国民健康保険局運営協議会委員	大野とし子	山口 剛一	山崎 進	河井 美久	荒木 洋美	
民生委員推薦会委員	会田 吉幸	阿部 雅一				
都市計画審議会委員	並木 敏恵	山口 剛一	奥沢 裕介	鈴木 一利		
空家等対策協議会委員	山崎 進					

会 派 構 成

名 称	人数	氏 名					
新 政 の 会	7	会田 吉幸 鬼丸 裕史	永田 飛鳳 山崎 進	山口 剛一	石川 友和	水沼日出夫	
次世代 かすかべ!	6	伊藤 一洋 河井 美久	阿部 雅一	奥沢 裕介	吉田 稔	小久保博史	
公 明 党	6	中村 貴彰 栗原 信司	鈴木 一利	藤原 智子	木村 圭一	荒木 洋美	
日 本 共 産 党	4	大野とし子	木下三枝子	今尾 安德	並木 敏恵		
立 憲 民 主 党	1	大里 昇					
日 本 維 新 の 会	1	平沢 一博					
無 所 属	4	榛野 博	酒谷 和秀	古沢 耕作	金子 進		

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧ください。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の栗原信司議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に26人が登壇

地域の基幹病院としての市立医療センターの役割について



鈴木 一利
議員

平成28年7月に春日部市立病院から市立医療センターに新築移転され、来年は新築移転から10年の佳節を迎えます。

- ①会計窓口での待ち時間の緩和に向けた取り組みについて
- ②災害時連携病院としての医療的ケア児の受け入れや、受け入れの準備を整えていくことについての考え。
- ③今後の展望について。

○病院事務部長

①マイナンバーカードの活用による手続きの簡素化を図るとともに、無料WiFiを整備するなど、体感的な待ち時間を低減させる取り組みも進めています。
②災害時は、医療的ケア児も含めた災害弱者に寄り添った対応が求められており、医療的ケア児の受け入れについては、他の医療機関における対応や課題の調査研究を進め、受け入れの準備については、

国や県の動向を注視し、必要な検討を重ねていきたいと考えています。

○病院事業管理者

③本センターは、これまで公立病院としての役割を認識し、機能の強化を図ってきました。今後も次の10年に向け、社会構造の変化や医療需要の状況を見据え、ソフトとハードの両面から地域の基幹病院として必要な医療の提供に努めていきたいと考えています。

このほか

○春日部市の子育て支援について（産前産後支援のさらなる充実を）

女性健康支援について



藤原 智子
議員

女性はライフステージごとに心や体の変化があり、その中で、いくつもの役割を担いながら日々を過ごしています。特に更年期には、体調の揺らぎがある中でも、周囲に気づかれにくく、本人がひとり抱え込んでしまうことも少なくありません。

本市では、ライフステージに応じたさまざまな施策が実施されていますが、更年期世代の女性の健康支援は、十分ではない印象を受けます。

市民に対して行っている更年期を中心とした女性の健康支援の取り組み内容と、市民の関心や理解を高めるために「女性の健康週間」に合わせることができるかを伺います。

○健康保険部長

女性に特化した取り組みは2点あります。1点目は、骨密度測定会です。年12回保健センターなどで実施しており、そのうちの1回を20歳から60歳の若年女性のための測定会としています。2点目は、女性のからだ相談、女性カウンセリング相談の実施です。

女性の健康週間に合わせた取り組みとして、若年女性のための骨密度測定会をこれまで10月頃実施していましたが、今年度から女性の健康週間である3月8日に実施することとしたところです。

このほか

○放課後児童クラブの現状について

○全ての方が参加できる「長寿を祝う会」の在り方について

学校プールと 民間施設について



山崎 進
議員



学校プール34施設のうち築30年以上経過している割合は9割以上で、老朽化によって修繕改修が必要であり、現在プールが使用できない学校は、民間プールを使用しています。今後においても既存のプールの修繕改修ではなく、学校間での共用化を図るというこ

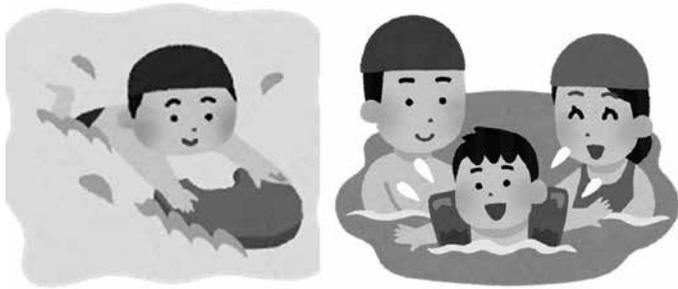
な設備の計画、施設整備の基本計画の作成を進めているところと、令和9年度中の運用開始を目指しています。

○総合政策部長

武里団地の跡地活用については、管理するUR都市機構に伺ったところ、原則公募による有償での活用が検討されており、地域および団地ごとの特性に応じて多様な活用を進めているとのことと。UR都市機構にはプール整備について情報提供していきます。

○交通安全について

このほか



温水プール設備 (イメージ)

ま客 引る 置き が監 急視 務員街



酒谷 和秀
議員



夜の春日部駅西口交差点付近はまるで売春街のような異様な雰囲気になっています。アジア系の外国人女性たちがここを通る男性に手当たり次第、下品でいやらしい客引きを行っています。実際にこの付近では過去に売春や違法風俗の営業が摘発された事件も発生しています。驚くべきことに、このような状況はもう20年以上も続いています。しかし、本市はこの状況をずっと放置したままです。他の自治体は繁華街に客引き監視員を設置してまちの治安を守っています。

本市もこの長年にわたる恥ずべき状況を解決するために、客引き監視員を設置する考えはありませんか？

○市長

犯罪抑止の取り組みは、市民生活において大変重要であると考えています。また、議員がご指摘の執拗

な客引きは、迷惑行為であると考えています。引き続き春日部警察署と連携するとともに、効果的な方法について検討してみたいと思います。

浸水被害軽減対策、 地域計画の策定を



今尾 安徳
議員



国の登録事業である100ミリ安心プラン。県内初の登録となりましたが、今年度が最終年度となります。この事業の完了によって見込まれる浸水被害軽減の効果と過去の豪雨災害と比較した際の軽減の割合について伺います。また、市内の局所的な浸水

被害の軽減に向けて、地元住民の意見を聞きながら、今後の計画策定を行っていく必要があるのではないかと思います。市長の考えを伺います。

○建設部長

平成20年8月28日の対象降雨最大時間雨量89ミリメートルの降雨に対して、床上浸水被害の解消と浸水エリアの縮小が図られることとなります。

また、軽減割合は、令和5年6月2日から3日にかけての台風第2号による大雨の被害状況と比較すると、床上浸水の件数は市内全域で10件、対象区域で5件となっております。割合は5割となります。

○市長

治水対策については、流域全体で共通意識を持ち、国、埼玉県、流域市町が連携し対策を実施していくことが重要です。現在、協議を重ねながら中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトを形成し、本プロジェクトを今後確実に推進していくとともに、地元の声もお聞きしながら事業を推進していきたいと考えています。

このほか

○学校教育におけるこどもの権利擁護に対する対応について

春日部藤まつりの 総括について



榛野 博
議員

最近はまだなかで本市をはじめ、団体や個人の方がにぎわいをつくるよう、さまざまなイベントを行っています。多くの市民が思い思いのスタイルで楽しまれている光景を目にすることが出来ます。今

回は春日部市と庄和町が合併して20周年ということで例年以上のにぎわいを目指し、企画を工夫し、さらに会場の設営にも注力されたと思います。

今回の藤まつりでは、市民間の交流、インバウンドを含めた観光、本市のPRも考えられたと思いますが、従来に比べ、趣向や会場設営などに工夫した内容はどのようなことでしょうか。併せて身体的ハンディを抱えた方に対する配慮はどのような対策を講じられたのか伺います。

○市民生活部長
今回、特に注力し従来より趣向を凝らした内容としては、市制施行20周年記念として、

『クレヨンしんちゃん』の野原一家の皆さんにパレードとステージイベントに参加していただいたところです。

また、障がいのある方に対する配慮については、パンフレットに多目的トイレの表示を行っているほか、出店者のうち、車椅子利用者が多い障がい者団体について、出店準備などで移動の負担がなるべくかからないような場所に出店いただくよう配慮しているところ です。

このほか
○地域の安心安全対策について



中村 貴彰
議員

交通空白地域の課題と 多様な移動手段・広域交通の 可能性について

本市ではバス路線の廃止が相次ぎ、内牧地域や増戸地域をはじめ交通空白地が広がっています。特に買い物や通院に不安を感じる高齢者にとって、移動は日常を支える大切な手段です。そうした声に耳を傾け、私は三輪自動車（トウクトウク）など多様な移動

手段の導入を提案しました。また、北春日部駅と白岡駅を結ぶ、バス路線の復活に向けて白岡市との協力の必要性に言及し、JRへの乗り継ぎ確保についても声を上げました。さらに、令和8年3月完成予定の上野長宮線を生かした周辺地域の移動改善については、さいたま市岩槻区との連携も含め、広域的な視点から強く要望しました。

これらを踏まえ、市民の暮らしに希望を届ける移動手段の再構築に向けて、市長の見解を伺います。

○市長

誰もが自由で安全に移動できる持続可能なまちの実現には、公共交通が果たす役割は重要なものであると考えています。今後の公共交通の空白地域は、地域の方々の意見交換、ご協力をいただきながら、需要や実情を勘案し、持続可能なよりよい施策を考えたいと思います。

このほか

○カイロ・保冷剤の学校回収と地域内再利用の教育的活用について

○若者を巻き込んだSNS戦略と親善大使の再構築について

公園や道路樹木の 管理について



大里 昇
議員

公園や道路に植えられている樹木は、都市の景観の形成や市民の癒しの空間を構成する大切な資産であり、市民の生活環境に密接に関わっているとされています。また、樹木を管理する上で、さまざまな苦勞をしていると察します。

そこで、現状について、本市が管理している樹木のうち、中木や高木の本数は、公園と道路でどのくらいあって、年間の維持管理費用は、どれくらいかかっているのか、また、その維持管理の内容、剪定や消毒などの回数はいくら行っているのか伺います。

○建設部長

本市で管理している樹木の本数は、公園では高木が約7500本、道路では高木が約3100本、中木が約500本あり、公園と道路を合わせると約1万1100本の樹木の管理を行っています。樹木の維持管理に要した費

用は、令和6年度で公園が約1億2000万円、道路が約7500万円、合わせると約1億9500万円です。維持管理の内容は、公園では地域を10工区に、道路では5工区に分けて業務委託し、年1回の定期的な剪定や市民要望による剪定を行っています。

このほか、桜などの害虫が多い樹木に関しては、年1回から2回の薬剤散布を実施しています。

このほか
○シルバー人材センターにつ



浜川戸公園の高木

小学生の夏休みの居場所づくりについて



荒木 洋美
議員



最近の夏休み期間は、猛暑により熱中症警戒アラートが発令される日数が増えて、子どもが安全に外遊びするのが難しくなってきました。

千代田区では、熱中症対策の1つとして外で遊びたくても遊べない子どもたちに、冷房設備が整っている体育館を夏休みに無料で開放しています。本市でも夏休み期間中、冷房完備のある体育館を遊び場として開放していただきたいと思いますが、本市での夏休みの居場所として、小学校体育館の活用についてお伺いします。

○こども未来部長

現在、市内23校中10校において空調設備が整備されています。この整備に伴い、放課後児童クラブと放課後子ども教室においては、熱中症対策も含めた体育館の利用を令和7年度から予定しているところと見られます。

放課後児童クラブでは、夏休み期間中についての利用を考慮しており、使用の頻度については、週2回、1日2時間程度の利用を予定しているところと見られます。

放課後子ども教室においては、暑い時期が予想される6月から9月頃の利用を考慮しており、使用頻度は学校ごとに異なりますが、全10校で、16回程度の利用を予定しているところと見られます。

このほか

○医療的ケア児支援について
○居住支援協議会伴走支援プロジェクトについて



放課後子ども教室の様子

古隅田川拡張に伴う道路について



金子 進
議員



古隅田川は、下流のほうから川幅拡張工事が行われており、現在、栄町地内のA21号橋の架け替え工事が行われています。そして、上流に向かって栄町から内牧地区に計画が進んできています。

この古隅田川に沿って、栄町から埼玉斎場組合に向かって計画道路があり、本市では栄町から向かう市道1-5号線と南栄町工業団地側の市道5-1号線の2路線を検討しているようです。

市道1-5号線とすれば岩槻からの道路を直進することができて便利となりますが、市道5-1号線とすると埼玉斎場組合前の丁字路で岩槻から来る道路がクランクの状態となり大変不便となります。

また、県は河川拡幅工事に伴って幅4メートルの維持管理用道路を栄町側に造ります。この道路を利用し、計画道路を造れば、経費的にも効果

があると思いますので、ぜひ、市道1-5号線を建設してもらうことを要望します。

○建設部長

市道1-5号線を整備するに当たっては、市道3-204号線沿いの住宅街に相当数の交通量の増加が見込まれるため、道路の安全性の確保などが懸念されること、また古隅田川に大きな排水路が接続されていることで、新たな橋梁も整備しなければならぬことから整備が難しいものと考えています。

このほか

○内牧黒沼公園について

本市の観光客誘致について



平沢 一博
議員



近年、首都圏外郭放水路などの存在により外国人観光客を中心に、観光客が着実に増加しています。さらに観光客を呼び込むために、YouTubeによるPRは、視覚的訴求力が高く、臨場感や雰囲気伝えることが可能であり、観光誘致において強力な武器

となります。本市ではYouTubeをどのように活用しているのか伺います。また、全国の自治体で業務負担が少なく、広告のジャンルも選べるため、公式チャンネルのイメージを損なうリスクは低く、新たな自主財源の確保につながるのとこととYouTube収益化の動きが広がっています。本市公式YouTubeチャンネルの収益化について、実現可能性を伺います。

○総合政策部長

YouTubeの活用については、市公式チャンネル、かすかべ動画チャンネルを運用しています。動画で多くの情報を伝えられるという特徴を生かし、大風あげ祭りなど市のイベントや桜並木を撮影した観光スポットなどの紹介を配信しています。収益化については、広告収益を得るためには運営者側が設定した条件を満たすことが必要となりますが、再生時間が、条件に満たない状況です。収益化するには、多くの再生回数が必要とされることから、今後より多くの人の目に留まるよう工夫を重ねていきます。

このほか
○JR誘致について

春日部夏まつりの「有料観覧席」はなぜ中止になったのか？



山口 剛一
議員

「春日部夏まつり」についてお伺いします。今年の夏まつりでは、昨年、新たな事業として実施された「有料観覧席」の中止が決まったと伺っています。昨年の市議会では、「市としては、有料観覧席販売の収益を活用することで、今後の夏まつりが実行委員会により安定的に運営されることを期待しています。」と答弁されていました。有料観覧席事業の中止となった理由について伺います。

また、複数の自治会長から昨年、突然決まったこの事業は「誰が決めたのか？」という声を聞きますが、市長が指示したのでしょうか？

○環境経済部長

今年の夏まつり実行委員会においても、有料観覧席の設置に係る議論が重ねられました。また、実行委員の方から、安全面に対する不安の声が上がったこと、そして収益に対す

る問題点が指摘されたことなどにより、今年の有料観覧席の実施は見送る判断になったものです。

○市長

昨年の有料観覧席については、近年、各地の祭りでも有料観覧席が設けられていることを受け、夏まつりの観光資源としての魅力、価値を高めるとともに、翌年以降もお祭りに来ていただくことを目的に、観光協会から実行委員会に提案し、実施されたものです。

このほか

○多額の費用が予想される廃棄物処理施設の更新について

教育現場における働き方改革について



伊藤 一洋
議員

近隣自治体の中には、スクールサポートスタッフの全校配置がまだできていない市町もあると聞きます。そのような中で今回、教育委員会には頑張っていたいただき、スクールサポートスタッフの全校配置をしていただきました。しかしながら、大規模校、

一ノ割駅周辺のまちづくりについて



木村 圭一
議員

一ノ割駅は市内8駅の中で2番目に乗降客数が多いことから駅利用者の利便性を改善させるために、これまで何度か議会に取り上げていますが、これまでの答弁でも、繰り返し一ノ割駅の橋上化と周辺のまちづくりを一体的に進める回答ですが、相当の時間を要する事や、その間、利用者への不便を強いられる状況から、議会では令和5年9月に「一ノ割駅西口に改札口の設置を求める請願」が提出され、全員一致で採択されています。

その後の対応について伺います。また、市長は今後、どのようなリーダーシップを発揮して一ノ割駅利用者の利便性向上を含めた周辺のまちづくりを進めていくのか伺います。

○都市整備部長

地域住民の方々への対応は、自治会の代表者の方と直接会い、意見交換を行っています。また、令和7年5月25日には、

地域住民の方々との意見交換を実施しており、地域の課題の共有を図っています。

○市長

現状において一ノ割駅については、駅周辺道路が狭く、駅利用者の安全性や駅前広場などによる交通結節機能がなという大きな課題があります。故に駅周辺における利便性の向上を図るには、西口改札を設置することが効果的であると考えています。

このほか

○道路管理について

○精神疾患を抱えている方への窓口対応強化について



一ノ割駅改札

**市民生活と行政をつなぐ
民生委員・児童委員の
改選について**



水沼日出夫
議員

民生児童委員欠員地区の早期解消に向けた、今年度一斉改選への取り組みや改正点、考え方を伺います。

○福祉部長

一斉改選への取り組みは、民生児童委員の役割負担軽減として、令和4年度まで民生児童委員の方には、75歳以上の高齢者のみの世帯に対し緊急連絡先などの調査をお願いしていました。令和5年度に調査を廃止し、現在は高齢者支援課で対応しています。

また、欠員地区の早期解消に向けては、一斉改選までの3年間で退任者が自主的に後任の方を探すことに加え、地元自治会との連携協力体制をもつて、これまで以上に早期の欠員地区解消に向け、取り組みを進めていきます。

改正内容については、現在の民生児童委員で令和7年12月1日時点で78歳未満の方の担当地区に78歳未満の適任者

がおらず、本人の同意と意欲があれば78歳以上でも3年間に限り再任できることとなりました。

県内では、欠員地区に対応している民生児童委員の方に活動費を支給している自治体もあることから、他の自治体の取り組み内容を確認し、支給方法について一定の基準を設けるなど対応について検討していきたくと考えています。

このほか

- 自治会集会所等における活動の現状と課題について
- 河川等の氾濫域における流域治水の自分事化について



民生委員・児童委員の連携 (イメージ)

- ① 令和6年度申請分の実績では、判定した8823件にかかる平均日数は44・7日、約1か月半となっています。
- ② 他自治体の状況について調査研究し、本市に合った取り組みを検討することは重要であると考えています。
- ③ 他自治体の導入状況やその効果について情報収集し、期間の短縮や審査会委員の負担軽減などの効果について検証するとともに、委員の皆さまの意見なども伺いながら調査研究していきたくと考えています。
- ④ 他自治体に比べ、日数を要している介護認定審査会などの事務処理期間について、まずは審査会を12合議体に拡大したことによるメリットを生かして、短縮を図っていきたくと考えています。

**要支援・要介護認定の
認定期間について**



石川 友和
議員

国は要介護認定などの結果について法定期間として30日以内に通知するよう定めています。そこで、以下伺います。

- ① 本市において要介護認定などの結果が出るまでの平均日数について。
- ② 介護認定審査会などの事務処理期間は、本市は、令和5年度は、27・4日かかっている現状があるが、審査会の効率化・迅速化のための取り組みについて。
- ③ 時間短縮に向けて、オンライン会議形式の導入について。
- ④ 要介護認定などの結果が出るまでの期間短縮に向けての、目標設定や体制の改善についての今後の意気込みについて。

**学校給食費
無償化について
市長の見解を問う**



並木 敏恵
議員

学校給食費については、憲法第26条で義務教育はこれを無償とするとうたわれていることから、本来国の制度として行われるべきです。

しかし、現状はそうではない中、市長の選挙公約でもあり、市として無償化に踏み出すべきと考えますが、市長の

考えを伺います。 これまでも財源確保が課題と言ってきましたが、確保する努力なしには生み出せません。財源確保の考え方、また段階的にも踏み出していく考えはありますか。

○市長

未来を担う子どもたちが幸せにすくすく育っていくことを本気で応援していく必要があると日々考えており、その一つの支援として、学校給食費の無償化を段階的に目指していきます。

子育て支援は給食費無償化だけでなく、医療費18歳まで入院通院無料化など幅広く実施しています。限りある大切な財源の配分を幅広い視点でしっかり見極めたいと考えており、段階的ならざる無償化に当たって、国の動向、施策の優先順位、緊急性などを考慮し、現在判断しているところです。

また、地域間格差を生じさせないために、国で統一的に実施することを要望していきます。

このほか

- 放課後児童クラブの指定管理者制度をやめて直営に
- 市民の投票権の保障を

北春日部周辺の まちづくりについて



阿部 雅一
議員

内牧地区まちづくり研究会で、朝日バスについて北春日部駅発着または経由によって利便性が格段に上がり、利用者が増えるとの声が出ています。

今後、北春日部駅前に商業施設ができることに伴って、北春日部駅に行けるバス路線の開通が望まれるところです。イベント時には2500人の来場者をほこる内牧公園もあります。駐車場のキャパシティが追い付かず、1時間に1本でもバスがあればとの声もあります。

今後の北春日部駅西口周辺のまちづくりに合わせ、朝日バスの新たなルート設定や既存ルートの見直しなど、公共交通の強化を検討する予定があるのか市の見解を伺います。

○都市整備部長

現在、内牧地域を運行しているエミナース線につきまは、利用者の減少により経

営が非常に厳しい状況となっており、他の路線の収益の補填により運行を継続している状況であると伺っています。

朝日バスが北春日部駅に乗り入れることにより、沿線地域から駅へアクセスしやすくなるなど、一定の効果が目に見え、今後の土地区画整理事業の進捗やエミナース線の利用状況などを見極めた上で判断していきたいと考えています。

このほか

○春日部市立医療センター経営強化プランについて

全市をあげて 誰もが自由に移動できる まちづくりを



大野とし子
議員

誰もが自由に移動できる交通権の保障は、自分らしく生きるまちづくりの基本です。全市をあげて取り組むことを求めます。

交通空白地域にアンケート

を取り、ニーズを把握し、皆さんと考えていくことで、デマンド交通の要望が

あったら検討すべきと考えます。

春タク制度を福祉部や市民生活部で行い、距離制限をなくし、高齢者や免許返納者の移動手段を確保すべきと考えます。

市民が自由に移動できるように、財源も充て、市の中心施策にしていくべきと考えます。

以上3点について、市の認識を伺います。

○都市整備部長

デマンド交通は、専用車両と運転手の確保が必要となり、公費負担が高くなることもあるなど、慎重な検討が必要と考えています。

○福祉部長

春タクを福祉施策で行う場合は、対象者の選定や費用対効果の観点などから、十分な検討が必要と考えています。

○総合政策部長

総合振興計画に公共交通ネットワークの形成を位置づけているので、公共交通を利用できるように各種施策の取り組みを進めていきます。

このほか

○校内教育支援センターの拡充で、こどもたちの心と身体の居場所の確保を

リチウムイオン電池の 処分方法について



鬼丸 裕史
議員

リチウムイオン電池は、多くの電子機器に搭載されている反面、衝撃に弱く発火しやすいという弱点があり、使用済みのリチウムイオン電池が正しく廃棄されず、ごみ処理施設やごみ収集車の火災が全国で発生し、社会問題となっています。

そこで、以下伺います。

- ① 処分方法について。
- ② 捨てる時の注意点について。
- ③ リチウムイオン電池を内蔵した小型家電製品の捨て方について。

○環境経済部長

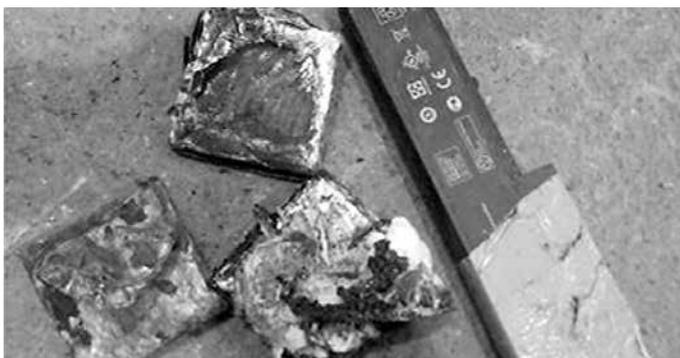
① リチウムイオン電池やモバイルバッテリーは、一般社団法人JBRRCに登録された回収協力店へ持ち込むことで処分することができます。海外製や破損などで回収協力店を利用できない場合は、瓶、缶、ペットボトル、有害危険ごみの日に危険ごみとして赤色コンテナに排出していただくよ

う案内しています。

- ② 電池類については、ゼロハントープで電極を覆うなどして電極を絶縁し、透明のビニール袋へ入れるようお願いしています。また、雨天時の排出はなるべく避けるよう重ねてお願いしています。
- ③ 20センチメートル以下の小型家電製品については、リチウムイオン電池単体と同様に有害危険ごみとして赤色コンテナで回収しています。

このほか

○『クレヨンしんちゃん』モニュメントの設置と観光客の回遊性について



発火したリチウムイオン電池

観光振興について



吉田 稔
議員

「クレヨンしんちゃん春日部スタンプ巡り」のスポットであるハルカイト・道の駅「庄和」・春日部市役所・ぷらっとかすかべなどに数多くの外国人観光客が増えてきていると感じています。

そこで、以下お伺いします。
①春日部市の観光の状況について

②外国人観光客の訪れるスポットについて

③ハルカイトの今後の取り組みについて

○環境経済部長

①令和6年度の外国人観光客は、首都圏外郭放水路において前年度比の1・7倍となる約8000人、ぷらっとかすかべが前年度比3倍となる約2万5000人へといずれも大幅に増加している状況です。
②主な来訪先として、「首都圏外郭放水路」、そして『クレヨンしんちゃん』関連のスポットとなる「ぷらっとかす

かべ」、道の駅「庄和」、大風文化交流センター「ハルカイト」など、市の施設や店舗などが挙げられます。

③今年度は市内外の小学校の社会科見学を積極的に受け入れ、春日部が誇る大風文化をこれからの若い世代へ伝えていくとともに、首都圏外郭放水路とセットでの誘致も進めていきたいと思っています。また、現在、たこづくりとたこ揚げ体験、土器焼き体験などの事業を展開しています。

このほか
○ごみ焼却施設の近隣協力について



短時間労働時のこどもの預かりについて



会田 吉幸
議員

小学校低学年児などを、自宅内であっても火を取り扱う場所があれば、ペランダにも出してしまうなど、一人で留守番をさせるにはかなりの不安があり、難しいと思います。

本市において、共働き世帯が増加する中、夏休みなどの長期休暇期間を含め、保護者の短時間労働、例えば週3日、1日3時間の午前中のみのパートをしている児童の保護者

に対応する、こどもの預かりサービスの不足が子育てと就労の両立を困難にしているとの声が寄せられています。そういったパートをしている保護者の方は、夏休み期間中は一時的にパートを辞めざるを得なくなってしまう。短時間労働であっても大きな収入であり、その収入によって、こどもを遊びに連れて行ってあげられることが可能になる収入だと思えます。

短時間労働の保護者向けに、

こどもの夏休み期間中だけは午前中のみ、午後のみといった時間帯を限定した短時間利用枠や週に数日といった柔軟な利用を検討すべきだと考えますが、市の認識を伺います。

○こども未来部長

短時間労働の保護者を対象にした、夏休み期間中の預かりサービスですが、今後、他自治体の動向などを注視しながら調査研究していきたいと考えています。

このほか

○市内スポーツ大会における春日部市の代表として遠征した場合の支援について

複合商業施設のオープンを生かして



古沢 耕作
議員

このほど、春日部駅東口からほど近い、かつての旧商工振興センター跡地に、複合商業施設「コープかすかべテラス」がオープンしました。

昨年、市民の皆さまに長年親しまれてきたイトーヨーカドー春日部店が閉店し、東口側でも駅前のスーパーマーケ

ットが閉店するなど、寂しい話題が続いた中で、同施設の閉店は本市にとって久しぶりにも明るいニュースと言えます。そのことを踏まえ、まずは同施設の概要を伺います。

次に、この機を捉え、ぜひ経済面での元氣、活性化につなげてほしいと考えています。その点について市の考え方を伺います。

○環境経済部長

同施設は駅東口から徒歩7分の場所にある地上3階建ての建物です。本市と国、また民間（生活協同組合コープみらい）の3者による官民連携手法を用いており、市が所有する土地を民間に長期間貸し付け、建物の整備運営は民間が行っています。テナントには、食品スーパーのほか、歯医者や美容室、また、春日部労働基準監督署、春日部公共職業安定所などがあります。

この施設を春日部駅東口周辺地域における新たな商業交流拠点施設として位置付け、関連する諸団体の方々と連携を図りながら、にぎわいの創出につなげていきます。

このほか

○選挙イヤーにおける投票率向上策を問う

新川橋 架け替えについて



木下三枝子
議員



これまで新川橋の架け替えと県道西金野井春日部線の整備事業は、老朽化や安全な通行を求める声にこたえて進められてきました。

しかしながら、安全な通行がいまだ実現せず、また、橋の老朽化についても不安が続いているところです。

実施設計が完了し、令和6年8月には地権者説明会が開かれ、その後、測量が実施されました。

計画は10年後の事業完了を予定しており、現在よりも大規模な橋と県道の整備が行われる予定です。

住民の生活に影響を及ぼすため、今後の住まいに関する不安や相談に懇切丁寧に対応するよう県の相談窓口に求めるなど、市の責任で取り組めることがあるのか伺います。

○建設部長

県道西金野井春日部線の橋梁の架け替えを含む道路の拡

幅については、早期に完成することが市民の安全性や利便性に寄与するものと認識しています。

地権者の皆さまにおいては、事業への協力に対し、不安な思いを持たれているかと存じます。

このような思いを少しでも解消できるよう、市としても事業主体である県に協力していくとともに、今後も県に対して地権者の皆さまに寄り添った対応をしていただくよう要望してまいります。

このほか

○終活支援制度の創設を

市役所火災への 対応について



奥沢 裕介
議員



白岡市庁舎の大規模火災について、白岡市役所で働かれている皆さま、サービスを享受している皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

白岡市では、近隣の公共施設の会議室や廊下などに折り畳みの長テーブルを広げて、臨時窓口を開設し、市民サー

ビスを提供しているようです。春日部市役所が、火災や大規模災害などにより各課の通常業務が滞った場合、どのように業務を継続していくのか、本市の考えをお伺いします。

○市長公室長

本市では災害に備え、春日部市業務継続計画、BCPを策定しています。この計画は発災時の限られた人的資源の中で、非常時に優先的に取り組むべき業務を確実に実施し、市民の生命、生活、財産の保護や行政機能および都市機能の維持を図るための全庁的な方針を整理したものです。

この計画に基づき、多様な災害に柔軟に対応できるように非常時優先業務や通常業務を整理し、業務の継続性の確保を図っています。本庁舎で大規模な火災に見舞われた場合には、庄和総合支所、武里出張所で業務継続を行い、各地区市民センターとも連携を図って、業務が停滞することなく、市民生活に影響を及ぼさないよう取り組んでまいります。

このほか
○春日部市のDX推進について
○ごみ分別のDX推進について

春日部駅付近連続 立体交差事業について



河井 美久
議員



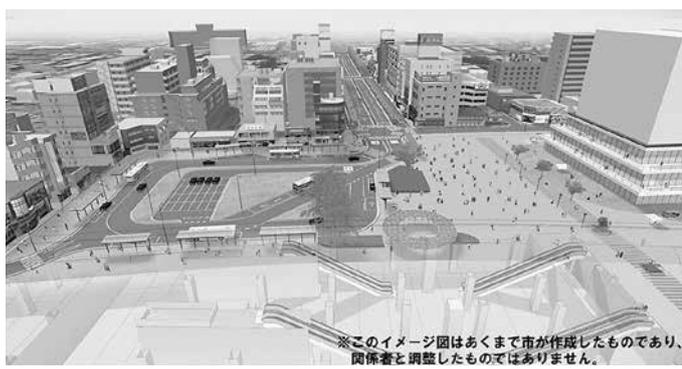
高架事業の実現により、都交通の円滑化が図られるとともに、中心市街地のまちづくりを進め、地域の活性化、中心市街地の一体化が図られるものと認識しています。

高架事業については、昨年度、東武伊勢崎線仮上り線の切り替え工事や西口自転車駐車場の解体工事などが完了し、順調に工事が進んでいることを実感しているところですが、高架事業の進捗状況と今後の見通しについて、お伺いします。

○鉄道高架担当部長

事業主体の埼玉県に確認したところ、用地取得については、令和7年5月末時点で、高架事業全体に必要な借地分を含めた面積ベースで、約95パーセントの用地を確保しているところです。

次に、工事については、令和6年度は東武伊勢崎線仮上り線の切り替え工事および春



※このイメージ図はあくまで市が作成したものであり、関係者と調整したものではありません。

春日部駅付近連続立体交差事業 西口駅前広場(イメージ図)

日部駅西口自転車駐車場の撤去工事が完了するなど、順調に進捗しています。令和7年度も引き続き、残る用地取得を進めるとともに、東武伊勢崎線仮下り線の切替工事や東武野田線の仮線工事、高架橋工事に支障となる富士見町地下道西口側出入口の移設工事などを進めていきます。

このほか

○春日部市における外国人名義の土地について

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
5/27	2	上程・説明
6/3	1	質疑
6/3	12	委員会
5	20	一般質問
6	21	一般質問
9	15	一般質問
12	36	一般質問
13	15	一般質問
17	7	討論・採決
合計	129	

傍聴して一言

若い世代の投票参加について、現在、共栄大学の学生の意見を聞いているとのことだが、大学より高校にしたらどうか。

大学生は地元出身者が少なく、春日部育ちの者しか分らない生活環境もあり、意見が異なる。 男性・80代

活発な質問など参考になりました。 男性・70代

議場がちよつと寒い。

質問者の内容がわかりやすく、具体的な事柄で大変よかったです。市からの返答も真剣に取り組んでいることが感じられました。春日部市がもっと発展していくためにも皆さんで一体となり、進んでほしいと思いました。 女性・80代

紙面では伝わりにくい部分も顔を見ながら話を聞くとよく分かります。市民の代弁者となり、市議の皆さまには感謝しています。介護認定の件も決定するまでの流れの説明を聞き、職員の皆さまも、いろいろと苦労されていることが分かりました。最後には期間短縮に向けて頑張れと応援していきたいと思いました。 私にも何かできることがあれば、ご近所の方々に伝えていきたいと思いました。 女性・50代

最終日の傍聴は初めてでしたが、採決の様子を見ることができてよかったです。議員さんの活動に期待します。 男性・50代

※割愛させていただいた部分もあります。

他議会からの視察受け入れ状況（令和6年度）

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	令和6年 4月23日	久喜市議会 (埼玉県)	新庁舎整備について
2	令和6年 5月15日	茨木市議会 (大阪府)	かすかべ未来研究所について
3	令和6年 6月25日	登米市議会 (宮城県)	書かない窓口について
4	令和6年 6月28日	上尾市議会 (埼玉県)	新庁舎の整備について
5	令和6年 7月11日	小樽市議会 (北海道)	自主防災組織と小樽市との地域防災連携協定について
6	令和6年 7月17日	豊田市議会 (愛知県)	借上型市営住宅制度について
7	令和6年 7月22日	安城市議会 (愛知県)	新庁舎の建設について
8	令和6年 7月25日	砺波市議会 (富山県)	新庁舎の整備について
9	令和6年 8月 1日	吹田市議会 (大阪府)	複合型子育て支援施設「パレットやぎさき」について
10	令和6年10月17日	松本市議会 (長野県)	市役所新庁舎の建設について
11	令和6年10月21日	米子市議会 (鳥取県)	汚泥再生処理センター（かんきょうゆめランド）について
12	令和6年10月22日	寄居町議会 (埼玉県)	義務教育学校について
13	令和6年10月24日	沼津市議会 (静岡県)	春日部駅付近連続立体交差事業について
14	令和6年11月 7日	島原市議会 (長崎県)	春日部みどりのパークについて
15	令和6年11月18日	大和郡山市議会 (奈良県)	小児・AYA世代がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業について
16	令和7年 1月30日	池田市議会 (大阪府)	シティプロモーションについて
17	令和7年 2月 4日	上田市議会 (長野県)	政務活動費について
18	令和7年 3月26日	江別市議会 (北海道)	ごみ収集のDX化について

意見交換会
(議会報告会)を開催しました

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、3月25日に庄和高等学校、3月26日に春日部共栄高等学校の生徒さんを新本庁舎にお招きし、開催しました。

各校とも、本市に関するテーマを決めていただき、議員との活発な意見交換を行いました。

お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。
なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していますので、ご覧ください。

詳しい内容は
こちらから



春日部共栄高等学校



庄和高等学校

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

5月21日
令和7年6月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

4月16日
デジタル化とペーパーレス化について

▽議会報告会について

議会のハラスメント防止について

▽議員定数について

議会基本条例に関するルール集について

5月14日

デジタル化とペーパーレス化について

▽議会報告会について

議会のハラスメント防止について

▽議会基本条例に関するルール集について

▽広報広聴委員会

5月8日
議会だより表紙について

6月19日

議会だより第80号について

7月2日

議会だより第80号について

6月19日

▽図書室運営委員会
令和7年度購入図書申し込みについて

編集後記

今年も各地で自然災害のニュースが続いており、あらためて「日頃の備え」の大切さを実感しています。本市でもいざという時に備えた対策の充実に向け、議会としても真剣に取り組んでいます。
さて、議会だよりでは定例会での主な質疑や議決事項を紹介していますが、定例会以外の活動も紹介しています。
近年は市内の高校を対象に議会報告会を行うなど、若い世代との対話の機会、つくりにも力を入れてきました。こうした取り組みをこれからも大切にし、次世代を担う声を市政へつなげていきたいと考えています。

また、一般質問には議員一人一人の視点やテーマへの思いが込められています。違った角度からご覧いただくと、新たな発見があるかもしれません。

「開かれた議会」として、どなたでも傍聴にお越しになれます。親子で安心して参加できる傍聴席もありますので、紙面だけでなく、実際の議会にも触れていただけたら幸いです。

市議会ホームページのご案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、会議録、本会議の録画中継映像などをご覧いただけます。

また、スマートフォンなどにも対応しておりますので、ぜひご覧ください。



広報広聴委員会

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 会田 吉幸 |
| 副委員長 | 木下三枝子 |
| 委員 | 山口 剛一 |
| 委員 | 平沢 一博 |
| 委員 | 伊藤 一洋 |
| 委員 | 中村 貴彰 |
| 委員 | 藤原 智子 |
| 委員 | 大里 昇 |
| オブザーバー | |
| 議長 | 小久保博史 |
| 副議長 | 石川 友和 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1
春日部市議会

TEL 048-796-8395

